

メールによる会員連絡の実施について

日本科学哲学会 会長
丹治信春

本学会ではこれまで、会員の皆様への連絡は、主として郵送で行なってまいりました。しかし、いくつかの他学会と同様に、郵送ではなく電子メールを用いれば、経費削減と迅速な連絡を実現することが可能です。そこで、この件について6月27日の理事会で審議を行なった結果、今後、会員の皆様への連絡は、可能な場合には原則として電子メールで行なう、という基本方針が決定されましたので、ご報告申し上げます。

まだ時期や内容について詳細は固まっておりませんが、大まかな方向としては、ニュースレターや年次大会案内、また日本学術会議からのお知らせや講演会のご案内などは、今後、電子メールで会員の皆様方に配信する予定です。学会誌『科学哲学』や会費納入のお願いなどは、従来通り、郵送によります。詳細が決まり次第、ニュースレターや学会HPで会員の皆様方にご連絡申し上げます。

つきましては、電子メールをご使用でありながら、まだそのアドレスを事務局へ通知されていない会員の皆様は、お早めにアドレスを通知して下さるようお願い申し上げます。その際、携帯電話のメールはお避けください。（従来通り、郵送を希望される方はお申し出下さい。お申し出のない限り、メール配信に自動的に切り替えさせていただきます。）また、電子メールをお使いにならない会員の皆様には、電子配信した内容を印刷して、それを郵送で送付いたしますが、経費削減と迅速な連絡を実現するために、なるべく多くの会員の皆様方にご協力をお願いしたいと存じます。以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。